

# イチョウ葉の苦みマスキング

独自の微粒子コーティング技術により、  
苦みの強いイチョウ葉をおいしく摂取できます。

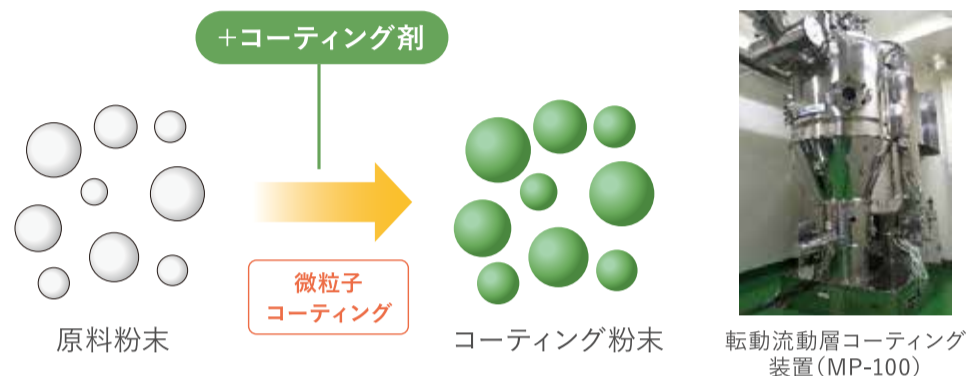


## 特徴

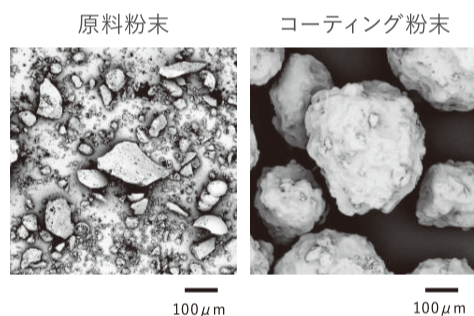
- 『イチョウ葉』は「認知機能の一部である 記憶力を維持する」機能があることが知られている成分ですが、苦みが非常に強く、適応可能な剤型が限られていました。
- 独自技術として、『微粒子コーティング』を施すことにより、苦みをマスキングすることに成功しました。

## 微粒子コーティング技術

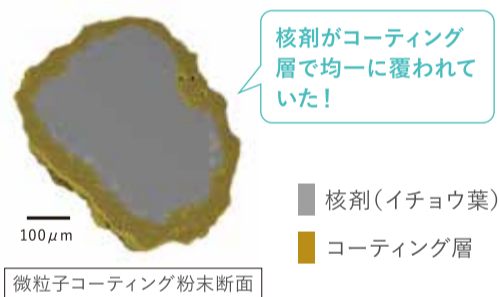
- 原料粉末の粒子表面を、可食性のコーティング剤で被覆する技術です。
- 転動流動造粒コーティング装置(MP-100)を用いることで、より効率の良いコーティングが可能となります。



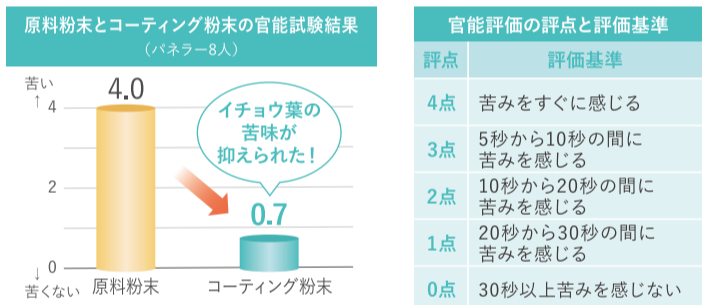
## 電子顕微鏡(SEM)での評価



## X線CT顕微鏡での評価



## 官能評価



## 活用例

- 顆粒剤
- 口腔内崩壊錠(OD錠)

少量の水分で  
速やかに崩壊するよう  
計算された錠剤

### 製剤設計

錠剤: 11mmφ (500mg/粒)  
口腔内崩壊時間: 40~60秒

### 処方

イチョウ葉微粒子コーティング粉末、乳糖、澱粉、  
結晶セルロース、微粒二酸化ケイ素、ステアリン酸Ca

### ヘルスクレーム

本品にはイチョウ葉フラボノイド配糖体およびイチョウ葉テルペンラクトンが含まれます。イチョウ葉フラボノイド配糖体およびイチョウ葉テルペンラクトンは、中高年の方の認知機能の一部である記憶力(日常生活で生じる行動や判断を記憶し、思い出す力)を維持する機能があることが報告されています。

